

植物由来高光学純度D-乳酸の販売開始について

JMTCエンザイム株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長 鎌田 俊、以下「JMTCエンザイム」）は、植物由来高光学純度D-乳酸につきまして、富士フィルム和光純薬株式会社（代表取締役社長：白木一夫、本社：大阪市中央区）を代理店として販売を開始しましたのでお知らせします。

今回販売開始したD-乳酸は、独自の遺伝子組換え分裂酵母を用いた発酵法により植物由来原料から製造したD-乳酸で、高い光学純度（99.5%ee）に特徴があります。D-乳酸は、医療分野における生体吸収材料の原料として用いられており、またプラスチック廃棄物問題の解決策として注目されている生分解性樹脂の原料としての利用も期待されています。高光学純度D-乳酸を原料に用いることで、より高品質なポリマーを製造することが可能になります。



D-乳酸



D-ラクチド（試作品）

JMTCエンザイムは、日本材料技研株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：浦田 興優、以下「日本材料技研」）とAGC株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：島村 琢哉、以下「AGC」）が2016年3月に設立した合弁会社であり、AGCが開発した遺伝子組換え分裂酵母を用いたD-乳酸発酵技術をもとに、工業的な製造プロセスを検討してきました。このたび、カルタヘナ法に基づく経済産業省の確認を得た上で、少量生産体制を構築して試薬グレードとしての商業販売を開始するものです。

JMTCエンザイムでは、D-乳酸のさらなるスケールアップ検討と並行して、同じく生体吸収材料／生分解性樹脂の原料となりうる植物由来高光学純度リンゴ酸の工業化も進めてまいります。また日本材料技研では、D-乳酸を誘導したポリマー中間原料であるD-ラクチドについても製品化を計画しています。本件以外の新規技術導入も含めて、日本材料技研（JMTC）グループとして、生分解性樹脂関連技術や植物由来原料活用技術の商業化に対して、今後とも積極的に取り組んでまいります。

以上